

ふじみ衛生組合新ごみ処理施設整備・運営事業  
非価格要素提案書

【様式 第9号】

代表企業名

---

# 非価格要素 提案書 記載要領

下記に示す記載要領に従って各非価格要素提案書様式に記載し、ふじみ衛生組合（以下「組合」という。）へ提出すること。

また、必要に応じて記載内容の根拠となる資料を添付すること。

## 1. 様式の記載方法

- ◆ 用紙は各様式2枚程度とし、片面(1枚)に記載すること。(図表も記載可)
- ◆ 書式について、フォントの大きさは11ポイントとする。脚注等は9ポイントとし枠内の最後に記載すること。

(※:記載枠の大きさは変更可能)

## 2. 添付資料

- ◆ 用紙は原則、A4サイズとする。但し、A4サイズで見づらいものについてはそれ以外の大きさでも提出を認める。
- ◆ 書式は自由とする。ただし、資料の右上端に様式番号、名称および添付資料番号を記載すること。

(例:様式第9号－○ 添付資料1)

各様式に関連性のない資料の添付は認めない。

## 3. 提出方法

- ◆ 各様式は片面印刷とし、組合へ提出すること。

## 4. 記載内容

- ◆ 各様式の記載にあたっては、以下に記す内容を含めるものとする。
- ◆ 提案内容については、技術提案書や事業計画書等との整合を図り、具体的にかつ明確に根拠を示すこと。
- ◆ 構成企業が直接的に特定できるような記述は行わないこと。

**1-1-1 公害防止基準等の達成度について**

①排ガス(ばいじん、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、HCl、DXN' s、Hg)、②排水、③騒音・振動、④悪臭、⑤処理残渣(DXN' s・熱しゃく減量・含水率・重金属の溶出量)について、それぞれの保証値等を満足するために工夫した点とその効果について記載してください。

各保証値等を満足するために工夫した点とその効果	
①排ガス(ばいじん、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、HCl、DXN' s、Hg)	
②排水	
③騒音・振動	
④悪臭	
⑤処理残渣(DXN' s・熱しゃく減量・含水率・重金属の溶出量)	

**1-1-2 排ガス量・排水量について**

基準ごみ質で定格処理時における排ガス量及び排水量について記載してください。

また、排ガス量及び排水量を削減するための工夫について記載してください。

排ガス量・排水量
①排ガス量:
【排ガス量を削減するための工夫】
②排水量:
【排水量を削減するための工夫】

1-1-3 温室効果ガス抑制に向けた方策について

①CO<sub>2</sub>排出量について記入してください。

日常の運転に伴う二酸化炭素排出量(1年=365日で計算)

年間ごみ処理量 計算に用いるごみ質	t/年		
	基準ごみ		
	全炉休止	1炉運転時	2炉運転時
日数(日) 立上げ下げ時を含まない			
使用電力量(kWh/日)			
発電電力量(kWh/日)			
差引電力量(kWh/日)			
CO <sub>2</sub> 換算(kg-CO <sub>2</sub> /日) 0.339kg/kWhで換算			
灯油使用量(ℓ/日)			
CO <sub>2</sub> 換算(kg-CO <sub>2</sub> /日) 2.49kg/ℓで換算			
その他燃料使用量(ℓ/日)			
CO <sub>2</sub> 換算(kg-CO <sub>2</sub> /日) 換算係数 kg/ℓ			
合計(kgCO <sub>2</sub> /日)			
合計(kg/CO <sub>2</sub> /年)			

立上げ下げ時に発生する二酸化炭素排出量(立上下げに必要な電力量は考慮しない)

立上げに使用する灯油量	
灯油使用量(kℓ/回)	
立上げ回数(2炉合計 回/年)	
灯油使用量合計(kℓ/年)	
立下げに使用する灯油量	
灯油使用量(kℓ/回)	
立下げ回数(2炉合計 回/年)	
灯油使用量合計(kℓ/年)	
立上げ下げ時に発生するCO <sub>2</sub>	
灯油使用量合計(kℓ/年)	
CO <sub>2</sub> 換算(tCO <sub>2</sub> /年) 2.49t/kℓで換算	



**1-2-1 周辺環境との調和について**

①建物が周辺に与える威圧感を軽減するための工夫について記載してください。

(パース図を添付)

**建物が周辺に与える威圧感を軽減するための工夫**

②日影規制への対応について記載してください。

(日影図を添付)

日影規制への対応

**1-2-2 緑化計画について**

①敷地内の緑地率（緑地面積：m<sup>2</sup>）を記載してください。

また、緑地計画においての工夫・配慮及び維持管理上の工夫について記載してください。

（緑化計画図を添付）

敷地面積： m <sup>2</sup>	緑地面積： m <sup>2</sup>	緑地率： %
<b>緑地計画においての工夫・配慮</b>		
<b>維持管理上の工夫</b>		

**1-3-1 施設の安全性について**

**①リスクマネジメント**

**ア. リスクマネジメントの考え方**

リスクマネジメントの考え方について記載してください。

**リスクマネジメントの考え方**

イ. リスクアセスメントの実施実績

リスクアセスメントの実施実績とその概要について記載してください。

実施実績(納入先)	リスクアセスメントの概要
1.	
2.	
3.	
4.	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

ウ. リスクアセスメントの考え方について

リスクアセスメント実施にあたっての考え方を記載してください。

リスクアセスメント実施にあたっての考え方

②建設工事中の安全対策について

ア. 設計、建設に係る担当者（予定）の配置にあたって、資格及び経験等を踏まえての考え方を記載してください。

設計、建設に係る担当者（予定）の配置等の考え方	
建築工事関係	
プラント工事関係	

イ. 安全に工事を行うための基本的な考え方について記載してください。

安全に工事を行うための基本的な考え方

ウ. 工事期間中の車両動線計画について、既存の不燃物処理資源化施設への搬入車両等と工事車両の動線計画及び安全確保の考え方について記載してください。

各車両の動線計画及び安全確保の考え方

エ. 建設工事期間中の騒音・振動・粉じん等の対策について記載してください。

工事期間中の騒音・振動・粉じん等の対策

オ. 地下工事の考え方（山留め、地下水への影響など）について記載してください。

地下工事の考え方

**③通常時の安全対策について**

通常運転時の安全対策について、発生する可能性のあるトラブルとその原因および防止対策とトラブルが発生した場合の対応策についてリスクイベントツリーとして記載してください。

(別添「リスクイベントツリーの記載例」を参照してください。)

④非常時の安全対策

火災発生時、停電時及び地震時に想定されるリスクとその原因及びその防止対策としてハード面で採用している方法についてそれぞれ記載してください。

ア. 火災時

火災時に想定されるリスクとその原因	ハード面の防止対策
1.	
2.	
3.	
4.	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

イ. 停電時

停電時に想定されるリスクとその原因	ハード面の防止対策
1.	
2.	
3.	
4.	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

ウ. 地震時

地震時に想定されるリスクとその原因	ハード面の防止対策
1.	
2.	
3.	
4.	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

**1-3-2 労働安全性について**

**①作業環境について**

作業環境改善のための提案(要求水準書に記載したものは除きます。)を記載してください。

改善が必要な工程	予想されるリスクと改善のための提案
1.	
2.	
3.	
4.	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

②作業動線計画・機器配置計画について

ダイオキシン類管理区分となる部分を各階平面図上で色分けした上、通常運転時の点検順路を記載してください。

(ダイオキシン管理区分を色分けし、点検順路を記載した各階平面図を添付)

1-4-1 熱回収率向上へ向けた計画

①熱回収量について

基準ごみで2炉運転時におけるボイラ熱回収量等を記入してください。

熱回収場所	熱回収量	備考
廃熱ボイラ(2 炉分)	GJ/h	ボイラ吸収熱量(過熱器出口蒸気熱量-ボイラ給 水熱量)
その他(「炉体冷却水」等 具体的に)	GJ/h	有効利用される熱量のみを記入してください。
	GJ/h	
合計	GJ/h	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

②余剰電力・発電効率について

場内消費電力と発電電力を記入してください。様式10-10との整合を図ってください。

年間ごみ処理量	t/年		
計算に用いるごみ質	基準ごみ		
稼働状況	全炉休止	1 炉運転時	2 炉運転時
日数(日/年) 立上げ下げ時を含まない			
使用電力量(kWh/日)			
発電電力量(kWh/日)			
差引電力量(kWh/日)			
合計(kWh/年)			

発電効率（算出根拠も含む）について記載してください。

$$\text{発電効率（\%）} = \frac{\text{発電出力}}{\text{投入エネルギー（ごみ+外部燃料）}} = \boxed{\phantom{000}} \%$$

算 出 根 拠

**1-4-2 省資源・省エネルギーへの配慮について**

主要なユーティリティ（①所内消費電力、②燃料、③水、④主要薬剤）について、ごみ1t当たりの使用量を記載してください。

また、各ユーティリティについて、使用量を削減するための工夫について記載してください。

年間ごみ処理量		t/年	
計算に用いるごみ質		基準ごみ	
主要なユーティリティ	使用量	使用量削減のための工夫	
①所内消費電力(kWh/ごみ t)			
②燃料(l/ごみ t)			
③水(m <sup>3</sup> /ごみ t)			
④ 主 要 薬 剤	(kg/ごみ t)		
	(kg/ごみ t)		
	(kg/ごみ t)		

※記入欄が不足する場合は追加してください。

1-4-3 自然エネルギー利用計画について

①太陽光発電など、自然エネルギー利用（工夫）について記載してください。

①自然エネルギー利用（工夫）

1-5-1 エコセメント化施設へ搬入する焼却残渣量の削減計画について

①焼却灰排出量及び②飛灰排出量について記載してください。

年間ごみ処理量	t/年	
計算に用いるごみ質	基準ごみ	
年間焼却残渣排出量	排出量削減のための工夫	
①焼却灰排出量	t / 年	
②飛灰排出量	t / 年	

※記入欄が不足する場合は追加してください。

1-6-1 見学者への配慮について

①～⑥見学者動線等について

見学者通路を着色し、見学順路を明記した各階平面図を添付してください。

また、見学者通路の幅員、見学者ホールの面積。ユニバーサルデザインへの対応及び見学内容の工夫について記載してください。

①見学場所	
②見学者動線	見学者通路を着色し、見学順路を明記した各階平面図を添付してください。
③見学者通路の幅員	m
④見学者ホールの面積	m <sup>2</sup>
⑤ユニバーサルデザインへの対応(特徴)	
⑥見学内容の工夫	

**1-6-2 情報公開について**

①情報公開の考え方(公開する情報の種類・範囲、公開の方法など)について考え方を記載してください。

**①情報公開の考え方**

**1-7-1 地域経済への貢献、地域との連携について**

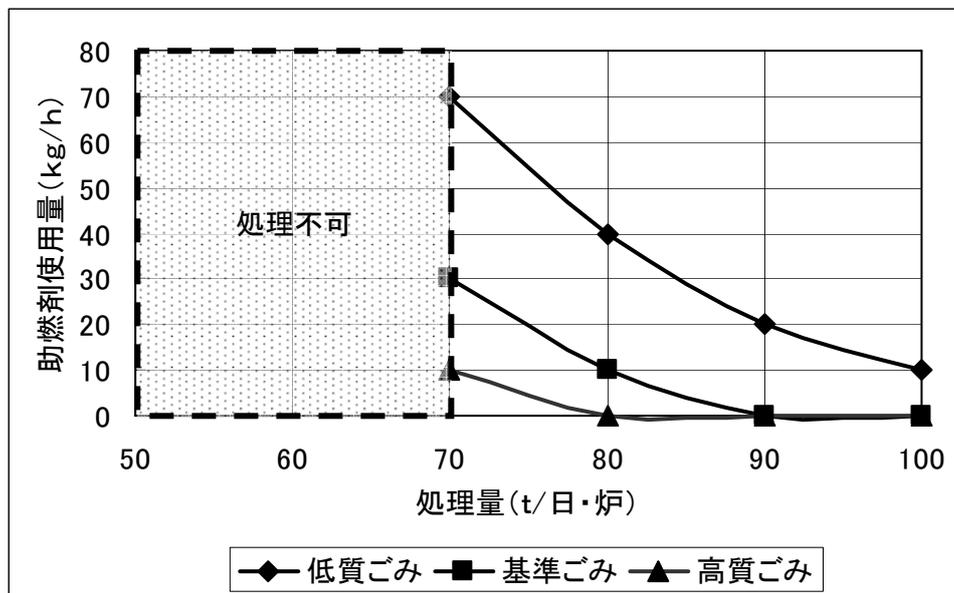
①地元企業への発注計画がある場合、その発注内容、発注件数等を記載してください。

①地域経済への貢献

2-1-1 ごみ量・ごみ質への対応性について

①ごみ量変動への対応について

下記様式に従い、部分負荷特性に係る性能曲線図を添付してください。



②ごみ質変動への対応について

ごみ質変動と定格処理能力が発揮できる範囲について記載してください。

また、ごみ質変動への対応(工夫)について記載してください。

ごみ質変動と定格処理能力が発揮できる範囲
ごみ質変動への対応(工夫)

**2-1-2 安定稼働性について**

**①連続稼働実績について**

応募時に提出した90日間連続運転の実績について、下記の項目が確認できる運転日報または納入先自治体の稼働実績証明書を添付してください。

項目	備考
1時間毎のごみ処理量	24 時間 × 90 日分
該当期間の焼却残渣搬出量	焼却灰、ばいじん処理物、 その他焼却残渣搬出量 1 日の搬出量 × 90 日分

②安定稼働実績について

連続する7日分のボイラ蒸気発生量の1時間値が確認できる日報又は納入先自治体の稼働実績証明書を添付してください。なお、対象となる施設は、提案する処理方式と同じ処理方式であって原則1炉規模が75t/日以上150t/日以下のものに限ります。

実績施設の概要

納入先	
施設名称	
竣工年月日	平成 年 月 日
施設規模	t/24h( t/24h× 炉)
処理方式	
定格蒸気発生量	t/h

蒸気発生量の実績(t/時)

時刻	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
0～1時							
1～2時							
⋮							
22～23時							
23～24時							

※日報の区切り方によって必ずしも0時からのデータである必要はありません。

**2-1-3 維持管理性について**

**①補修時対応の容易性について**

各階平面図にマシンハッチ及び荷物用エレベータの位置を明記し、想定される搬送物を記載してください。

また、補修時における主要設備までの動線計画を各階平面図に明記してください。

マシンハッチ等の記号	想定される搬送物
例)No.1 マシンハッチ	ごみクレーンバケット

※記入欄が不足する場合は追加してください。





**2-2-1 SPCの経営に関する提案(収支計画等)について**

**①収支計画の安定性**

事業収支計画に見込まれるSPCの手元資金の余裕度等について記載してください。

事業収支計画と整合を図ってください。

**●キャッシュフロー計画**

項 目	金 額	内 容 等
資本金		
株主出資		
開業費		
正味のキャッシュフロー		

**●各種積立金など(必要に応じて)**

項 目	金 額	内 容 等

※記入欄が不足する場合は追加してください。

●SPCのリスクヘッジ方法について、特徴と効果について記載してください。

SPCのリスクヘッジ方法について、特徴と効果

②補修費等(法定点検費、補修費、更新費、消耗品費)について

運営期間(20年間)中の補修費等を記入してください。

法定点検費については受検費用のみ記載してください。(受検のための点検・清掃費等は補修費に含めてください。)

年	法定点検費	補修費	更新費	消耗品費
1年目				
2年目				
3年目				
⋮				
18年目				
19年目				
20年目				

③用役費(電気・燃料・水・薬品)について

運営期間(20年間)中の用役費を記入してください。

電力使用料は売電収入を差し引いた正味支払い料金(売電収入が使用料金を上回る場合はマイナスの数値)を記入してください。

年	契約電力料	電力使用料	薬品費	燃料費	油脂	上下水道	その他	灰処理費
1年目								
2年目								
3年目								
⋮								
18年目								
19年目								
20年目								

用役費算出のための単価表(この表にないものについては各社で設定すること)

項目	単価	備考
契約電力料	円/kW	力率(95%)割引後の単価。購入電力のない月があっても、一律この金額で算出のこと。
使用電力料	円/kWh	年間・昼夜平均の単価。
売電電力料	円/kWh	同上
上水道	円/m <sup>3</sup>	下水道料金を含まない。
下水道	円/m <sup>3</sup>	

※いずれも消費税込

④人件費(管理・運転・機器整備・計量・プラットフォーム監視、その他)について

ア. 運営体制を記載してください。

運営体制図(SPC及び運転・維持管理部門などの人員配置の全体像が判るもの)を記載してください。

運営体制図

イ. 運営人員

運営人員の職種別に人件費単価、人員数等を記入してください。

勤務体制	職種 (必要な法定資格等)	人件費単価 (千円/人)	人員数(人)			人件費合計 (千円)
			1班 人数	班数	合計 (人)	
日勤者						
	小 計					
直勤務者						
	小 計					
その他						
合 計				人		

※休暇等に対する予備人員を見込んで記入してください。

※記入欄が不足する場合は追加してください。

## ウ. 職員の役割

前項(④-イ. 運営人員)で記載いただいた内容について、各職種別に本事業への役割について具体的に記載してください。

各職員の役割

⑤応募者の構成と役割分担について

応募者の構成とそれぞれの役割分担について記載してください。

企業名	役割分担 (具体的に記載してください。)	実績 (具体的に記載してください。)

※記入欄が不足する場合は追加してください。

**2-2-2 事業の安定化へ向けた方策について**

**①SPCに対するサポート体制について**

SPCに対して出資企業からの資金的サポート及び技術的サポートなどについて記載してください。

<b>資金的サポート</b>
<b>技術的サポート</b>
<b>その他のサポート</b>

②付保する保険について

付保する保険の考え方について記載してください。

付保する保険の考え方

**2-3-1 維持管理計画について**

①施設を30年間使用(事業期間終了後10年間使用)するための効率的な維持管理計画及びこれを実施するための維持管理体制の考え方について記載してください。

<b>維持管理計画において配慮した点</b>
<b>維持管理体制において配慮した点</b>

**2-4-1 運転計画の適切性について**

**①運転計画の内容**

運転計画において配慮すべき内容(運転体制、担当者の技術・経験などを)について記載してください。

①運転計画において配慮すべき内容

②労働安全対応について

労働安全衛生の取り組み(考え方)について記載してください。

②労働安全衛生の取り組み(考え方)

**2-4-2 セルフモニタリングについて**

**①セルフモニタリング計画について**

セルフモニタリングの実施内容及び工夫した点について記載してください。

また、組合との関わりについて記載してください。

セルフモニタリングの実施内容及び工夫した点
セルフモニタリングの実施に伴って、組合との関わり

**2-5-1 業務の引継について**

①事業の終了後へ向けて、円滑な引継を行うための考え方について記載してください。

①円滑な引継を行うための考え方

**2-5-2 地域住民への対応について**

①協議会(周辺住民との協議の場等)などへの対応について、考え方を記載してください。

また、周辺住民への対応(夜間などの来館)について記載してください。

**協議会(周辺住民との協議の場等)などへの対応について(考え方)**

**夜間などの周辺住民への対応(考え方)**

**2-6-1 その他**

①その他の提案がある場合は、下記にその提案を記載してください。

①その他提案

添付資料：リスクイベントツリー記載例

